

人気職種ランキング TOP3

1位 福祉・家事援助サービス

高齢者や共働き家庭の個人宅での掃除、洗濯、食事作りなど。ただし、コロナ禍になってからは減少傾向。
配分金平均 月/6000円

2位 清掃

特にアパートやマンションの共有スペースの清掃が人気。気軽にできることや、適度に身体を動かせる点もメリット。
配分金平均 月/20800円

3位 事務

書類整理や伝票整理、受付業務、コピーや封入作業など。補助的な作業が多く体力に自信がない方でもトライしやすい。
配分金平均 月/7800円



さいたま市

1位 施設管理

市役所や公民館などの公共施設、マンションなどの受付や管理業務。人と接する方が好きな方に人気。
配分金平均 月/27800円

2位 保育補助

保育園で保育士さんの業務を手伝う。可愛い子どもたちと囲まれて予想以上に楽しいという声が多い。
配分金平均 月/30000円



泊江市

3位 清掃

特にアパートやマンションの共有スペースの清掃が人気。気軽にできることや、適度に身体を動かせる点もメリット。
配分金平均 月/12000円

国をあげて応援！シルボンヌが地域を席巻中



女性活躍促進を象徴するアイテムとして、埼玉県SCの職員たちがデザインから手がけ、シルボンヌカーフを作製。こちらも今後全国で展開していく予定

イメージアップと女性会員の入会促進に向けて、公益財団法人いきいき埼玉（埼玉県SC連合）が平成30年に定めた女性会員の愛称。シルバー人材センター全体のイメージ変革につなげたいとの思いから、現在では全国のセンターが会員への普及・浸透に取り組んでいる。

「私も何とでもできないから……」
という方がいらっしゃるかもしれません。が女性には特に、仕事のノウハウをすでに持っているんです。家事や子育ての経験がそのまま仕事に生かせるのが女性の強みです（池田さん）
現状、会員から人気の職種は清掃、福祉・家事援助、事務、施設管理など。今後は共働き世帯が増えるなどして、女性が活躍できる、家事援助

「お金だけじゃない？ 働く真の目的とは」
シルバー人材センターでの就業は月10日程度、週20時間未満という決まりがあり、収入（配分金）は全国平均で月8〜10日就業した場合、月額3万〜5万円程度。
「高齢者が年金で足りない金額は約4万円といわれていますから、そのレベルには相当するのでは」（佐藤さん）
金額的にはお小遣い程度か

「毎日用事があったり、仕事で周回の方が多いとされることは、高齢者にとって活力にはなりません。女性なら、今日しかかかるといってきかなくていいかなきゃ」と口直しと語るのも大事なことです。それが若さの秘訣だと思いませんか（佐藤さん）
「女性は特に人に見られたり人へ付き合ったりで驚くほどどきどきするようになっていきます。」

「活動率を上げることは医療費削減の貢献にもつながっています」（佐藤さん）
さらに泊江市SCでは、90代で草取りの仕事をごなし、健康診断では「これも悪いところがないとお医者様に驚かれる方々、今年5月に100歳になられるのに、1日400件のホステイキングをされている方など、驚きの実例も！
「シルバーの仕事は、お金だ



女性会員向けの説明会も随時行われる



や保育補助の仕事が増加していくことが予想される。「保育園や学童保育での育児支援、また、介護施設や高齢者宅での家事援助や、話し相手などの需要はさらに高まると思います。どれも女性ならではの気配りやコミュニケーション力があることでできる仕事です」（佐藤さん）

「お金があるから自分には必要ない」と考えるのはもったいないですよ（池田さん）
さいたま市SCでは、3年間の追跡調査で、フレイルといわれる状態（加齢とともに心身の活力が低下し、健常から要介護へ移行する中間段階）の高齢者が、センターでの活動や就業によって心身ともに元気になり要支援から脱出したというデータもある。

「活動率を上げることは医療費削減の貢献にもつながっています」（佐藤さん）
さらに泊江市SCでは、90代で草取りの仕事をごなし、健康診断では「これも悪いところがないとお医者様に驚かれる方々、今年5月に100歳になられるのに、1日400件のホステイキングをされている方など、驚きの実例も！
「シルバーの仕事は、お金だ

「活動率を上げることは医療費削減の貢献にもつながっています」（佐藤さん）
さらに泊江市SCでは、90代で草取りの仕事をごなし、健康診断では「これも悪いところがないとお医者様に驚かれる方々、今年5月に100歳になられるのに、1日400件のホステイキングをされている方など、驚きの実例も！
「シルバーの仕事は、お金だ

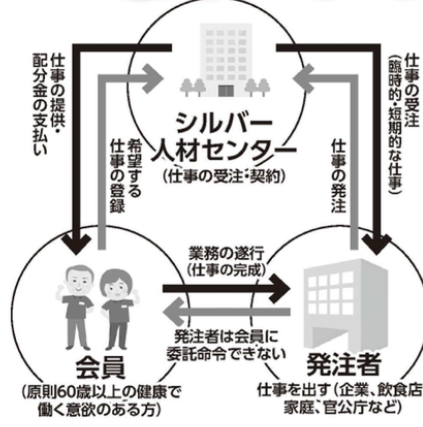
全国に支部あり！

短期で月3万稼げる！

「シルバー人材センター」で働く人に直撃！



全国で1300支部あり、高齢者の働く場を提供しているシルバー人材センター。そこで活躍する女性会員が増加中！なんとなく暗いイメージがあった人も、活気にあふれ楽しく働く現場の声に驚くはず。なぜ今女性会員数が増えているのか？ その背景をさぐってみました！



コロナ禍厳しい状況の中でも、女性だからと、できることがあるとして高齢女性の活躍の場を広げているのが、全国各地で法人として運営されているシルバー人材センター。現在23万人超の女性会員が活躍している。60歳から入れるとあって読者世代も興味津々！ということに力を入れている2つのシルバー人材センター（以下SC）でお話を伺った。
「おかげさまで当センターの会員数はこの5年間で200名近く伸びており、その半数は女性です」とは泊江市SC常務理事事務局長の池田あけみさん。

女性会員の平均年齢は75歳！地域社会とのつながりがりで若々しく

男性中心だったSCに近年は変化の兆し

「緊急事態宣言発令前のデータでは、女性会員の7割はセンター提供により就業しています。また、シルバー人材センターは働いてお金を稼ぐことだけが目的ではないんです。仕事やボランティア活動を通じて社会に貢献したり、女子会、と称して開催しているお茶会やヨガなど女性会員に特化したイベントの参加で居場所や仲間をつくれると、好評です」（佐藤さん）

「コロナの影響で減少した仕事もありますが、むしろこういうご時世だからこぼれ出る仕事もあります。開店前1時間だけの清掃など、人を常時雇うのが厳しい事業主から必要とされるピンポイントの仕事は、シルバーに最適。今後シルバー向けの仕事はさらに増えていくのではないかと期待しています」（池田さん）
また、女性会員の愛称「シルボンヌ」の名づけ元である埼玉県SC連合の中でも最大都市であるさいたま市SC参事兼浦和事務局長の佐藤まゆみさんも、日々女性のパワーを実感中。

お話を伺ったのは

さいたま市シルバー人材センター参事兼浦和事務局長 佐藤まゆみさん
全国に先駆けて女性会員の活躍促進への取り組みを始めた埼玉県で最大の市であるさいたま市。女性会員に特化した増えたとのイベント実施など、よりアクティブなセンターを目指している



泊江市シルバー人材センター常務理事事務局長 池田あけみさん
国内で2番目に小さな市で、会員数は約700名と小規模ながら、イベントや就労の活気は都内随一。女性職員が多く活躍することで注目されるアットホームなセンターを率いる

